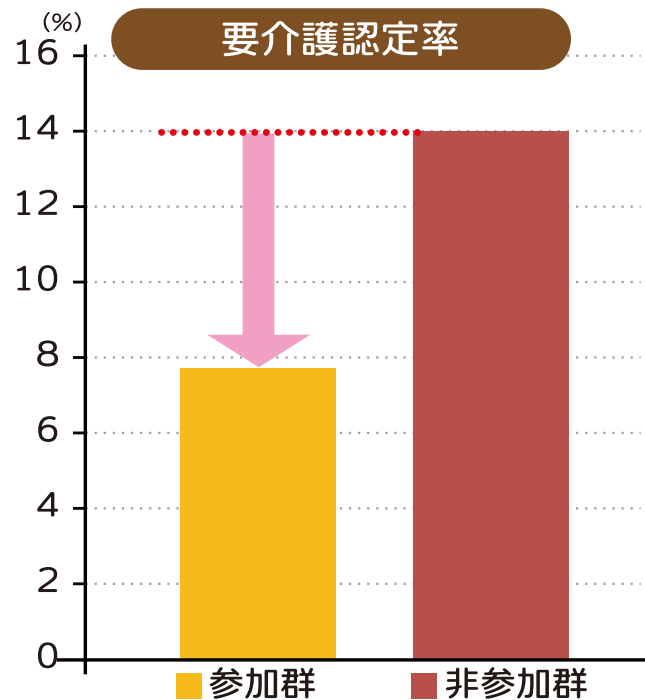


サロン参加群で要介護認定率が低い



2007年から2012年までの5年間の
要介護認定率を参加群と非参加群で比較した

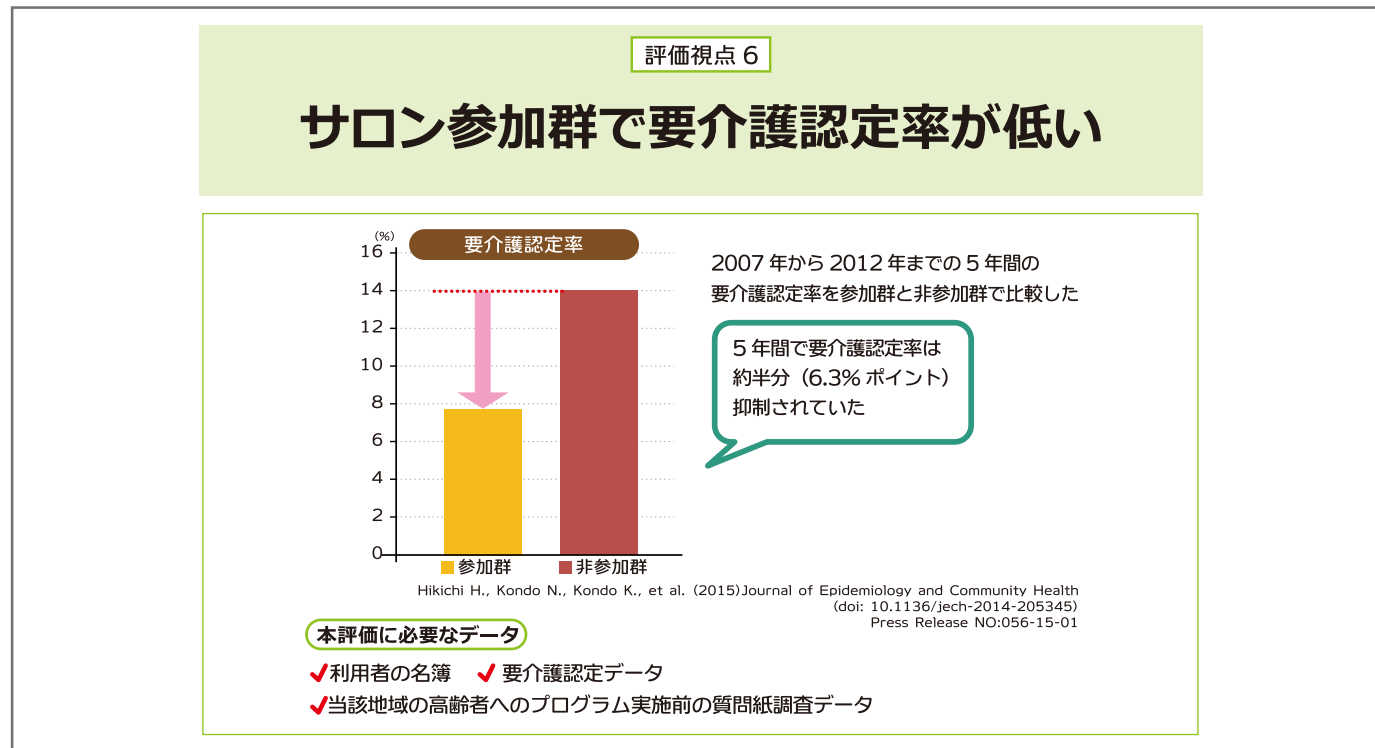
5年間で要介護認定率は
約半分 (6.3%ポイント)
抑制されていた

Hikichi H., Kondo N., Kondo K., et al. (2015) Journal of Epidemiology and Community Health
(doi: 10.1136/jech-2014-205345)
Press Release NO:056-15-01

本評価に必要なデータ

- ✓ 利用者の名簿
- ✓ 要介護認定データ
- ✓ 当該地域の高齢者へのプログラム実施前の質問紙調査データ

◆スライド解説



解説

■ サロン活動による健康維持・増進効果を検証するために、サロン活動参加者と非参加者のその後を追跡し、要介護認定へ至りやすさの相違を評価したもの。

■ ここでは要介護認定率を指標にして、サロン参加者と非参加者を比較したところ、5年間で非参加群の高齢者では14%が要介護認定へ至っているのに対し、参加群では7%強と約半分であることが示された（なお、本結果は、健康な人ほどサロンに参加しやすいという影響を考慮し、参加群と非参加群は、サロンに参加した否か以外の状況はほぼ一致している人々を比較したもの）。

■ こうした効果評価を行うためには、事業への参加・非参加と要介護認定情報とを結びつける必要がある。また、サロン参加者と非参加者は様々な面で異なる人々であると予想されるため、それらの影響を調整するための事前の調査データがあると望ましい。

